

大阪府外来医療計画（骨子案）

1 二次医療圏内の外来医療体制の現状と課題

第1節 外来医療体制（全般）

- （1）外来医療施設数
 - ・ 医療機関の設置状況
外来施設数、かかりつけ医療機関数（小児）、
外来診療における診療所及び病院の実施割合
 - ・ 診療科別の設置状況
 - ・ 開設・廃止等施設数
- （2）診療所に従事する医師
 - ・ 性年齢別の医師の従事状況
 - ・ 後継者の有無
 - ・ 外来医師偏在指標
- （3）患者の受け入れ状況
 - ・ 外来患者延数
 - ・ 時間外等外来患者延数
 - ・ 診療科別×市町村別
- （4）病院・診療所・介護施設との連携
 - ・ 連携医療機関数

第2節 初期救急医療体制

- （1）初期救急医療体制の現状
 - ・ 休日夜間急患センターの設置状況
 - ・ 夜間及び休日に開院している医療機関の状況
時間外等外来施設数
初期救急における診療所及び病院の実施割合
- （2）初期救急の在宅当番医の状況

第3節 在宅医療（グループ診療）提供体制

- (1) 在宅医療（訪問診療、往診）に関する状況
 - ・在宅患者訪問診療患者延数
 - ・在宅患者訪問診療実施施設数
 - ・在宅医療における診療所及び病院の実施割合
- (2) 在宅医療におけるグループ診療に関する状況

第4節 その他（公衆衛生活動等）

- (1) 公衆衛生活動（産業医、学校医、予防接種等）の実施状況
- (2) 公衆衛生活動を実施する上での課題
 - ・公衆衛生活動の負担感

第5節 医療機器

- (1) 医療機器（CT、MRI、PET、マンモグラフィー、放射線治療器（体外照射））の実態
 - ・配置・保有状況（台数）
 - ・稼働率
 - ・検査の実施状況
- (2) 医療機器の共同利用のあり方について
 - ・自院機器の共同利用として活用の希望
 - ・共同利用であれば活用したい機器の有無

2 二次医療圏における今後の取り組み

- (1) 外来医療体制の推進について
 - ・医療機関の連携
 - ・初期救急
 - ・在宅医療（グループ診療）等
- (2) 新規開業者への外来医療提供体制の情報提供について
新規開業者に求める不足する医療機能について⇒圏域の意見を踏まえ記載
- (3) 医療機器の今後のあり方について
医療機器の共同利用の方針⇒圏域の意見を踏まえ記載